

市町村名	宜野湾市						
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	道路景観整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設部 土木課	事業実施(予定)年度	H24~H30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成	
事業内容	はごろも祭りやプロ野球キャンプ・コンサートなど各種イベント行事が行われる、コンベンションエリア(市立野球場や野外劇場・ビーチがある海浜公園や沖縄コンベンションセンター・ホテルなど)と国道58号を接続する市道を、良好な景観形成を目的として、歩道改良、街路樹移植、歩道外灯整備をする。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R2 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,770	76,560	-	141,001	
		(b) 予算現額	36,231	76,560	-	141,001	
		(c) 増減額(b-a)	461	0	-	0	0
		(d) 繰越額	-	0	34,329	34,329	54,281
		A. 計(b+d)	36,231	76,560	34,329	175,330	54,281
	B. 執行済額		36,028	42,231	34,329	87,547	54,268
	うち交付金充当額		28,823	31,673	26,082	70,037	42,763
	次年度繰越額		0	34,329	0	54,281	0
	執行率(%) (B/A)		99.4%	55.2%	100.0%	49.9%	100.0%
予算の状況の説明		H30年度 真志喜26号歩道改良工事 前払31,363千円 H30繰越 真志喜26号歩道改良工事 54,268千円 真志喜26号歩道外灯設置工事 完了31,912千円 真志喜26号街路樹移植工事 完了24,680千円					
活動目標(指標)及び達成状況	30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	
	真志喜26号の工事完了	目標	( 1路線 0.1km )	( 1路線 0.5km )	( 1路線 0.72km )	( )	
		実績	1路線 0.11km	1路線 0.26km	1路線 0.72km		
真志喜26号の設計・工事	目標	( 1路線 実施設計 )	( )	( )	( )		
	実績	1路線 実施設計の完了					
達成状況説明	H29 真志喜26号 ・歩道改良工事L=260m(両側歩道) ・外灯設置工事13基 ・街路樹移植工事81本 H30 真志喜26号 ・外灯設置工事30基 ・街路樹移植工事177本 H30 繰越 真志喜26号 ・歩道改良工事L=720m						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)
	真志喜26号の工事完了	目標	( )	( 1路線 0.11km )	( 1路線 0.5km )	( 1路線 0.72km )	( )
		実績		1路線 0.11km 設計一式	1路線 0.5km	1路線 0.72km	
	【R2成果目標】魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や臣民等へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( )	( )	( 80% )
実績							
進捗状況説明	各種工事を完了し、コンベンションエリアへ接続する市道真志喜26号を整備したことによって、市に訪れる一般観光客へ良好な景観を提供し、魅力的な観光地としての景観形成を図ることができた。						

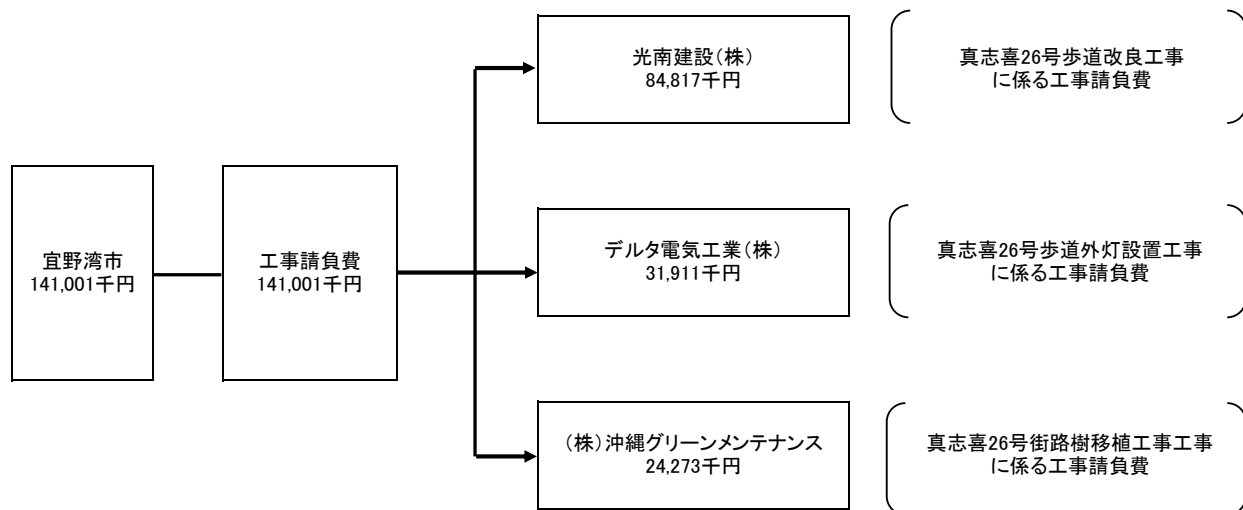
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>真志喜26号全区域の事業完了に伴い、その後評価が必要になるため、観光満足度調査を行う。 各工事において、事業効果を把握する上で、事前調査の検討が必要である。</p> <p>①歩道改良工事…路面温度上昇を抑えるカラー舗装において、舗装前と舗装後の温度上昇抑制効果の把握。</p> <p>②街路樹移植工事…プランター設置後において、景観緑化を保たせることが出来るような取り組みの必要性。</p> <p>③外灯設置工事…景観との調和について、検討が必要。</p>	<p>①カラー舗装による路面温度上昇抑制効果を調査する。</p> <p>②プランター設置後、地域住民との苗植えや緑化イベントなど行う。</p> <p>③外灯にのぼりを設置した際の景観との調和や舗装とのバランス面の検討。</p>

**今後の取り組み方針**

- ①歩道改良工事…路面温度上昇を抑えるカラー舗装において、舗装前と舗装後の温度上昇抑制効果の把握。
- ②街路樹移植工事…プランター設置後において、景観緑化を保たせることが出来るような取り組みが必要。
- ③外灯設置工事…景観との調和について、検討が必要。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
142,223	141,001	112,800	28,201	1,222



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	■業者選定においては、指名審査委員会にて選定承認を受けており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	■予算規模については、事業内容に見合った規模で確保されており、妥当である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	■費目・使途については、事業目的の観点から必要なものと判断しており、適正であった。